

一昨日（6月25日）配信の逆ラジオ通信 No.71 W-250625 には <2つの懸案の大地震の予想、中部地区と九州、再々再度？継続>として以下の2つの予想を載せています。

① 中部地区の大地震の予想

【滋賀守山610】や【浜北017】等の収束から、当初 M6 クラスを予想していましたが、新たに長く続いた大型データの【和歌山太地】が6/12に急な減衰になり、さらに長期大型データの1つの【伊勢B261】までも減衰してきたことから、想定される地震の規模は1段大きいと思われ、以下の予想として続けます。

震源：能登半島周辺等、又は内陸の紀伊半島周辺、又は三重県沖等

地震の規模：M6～7クラス、

発震予想日：本日6月25日より もう約1週間程度とします。

>しかし最近になって、新たに、和歌山大地の収束と伊勢B261の減衰が加わり、予想される地震の規模が大きくなっています。

② 九州の大地震の予想

2/20以前の大型データは約40万前後の大きさでしたが、その後小さくなった4つの塊状データが続き、この4つ目の塊状データがほぼ収束状態のまま推移しています。このデータが完全収束した後に豊後水道や日向灘等を震源にしたM7超クラスの大地震が考えられます。

地震の規模：M7.5前後、

震源：日向灘又は豊後水道、大分熊本周辺の内陸、

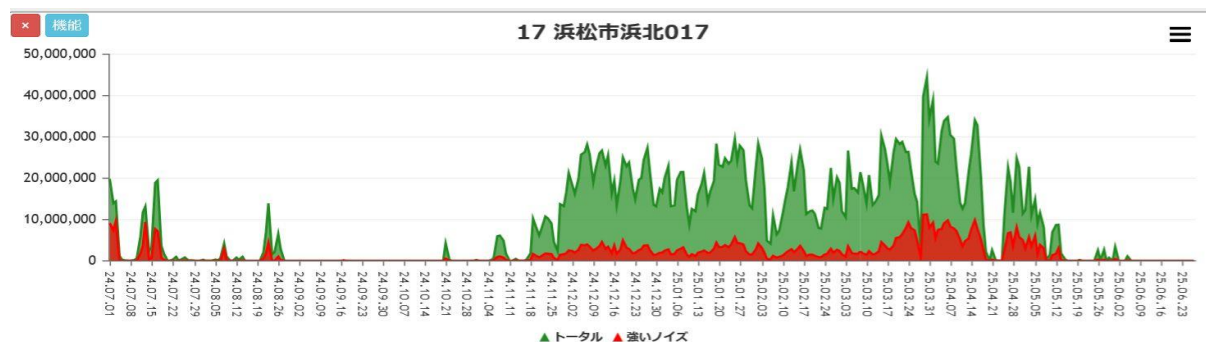
発震予想日：本日6/25から さらに約1週間程度

>こちら最近になって、新たに、高知市介良の減衰が加わり、予想される地震の規模と震源が変わってきています。

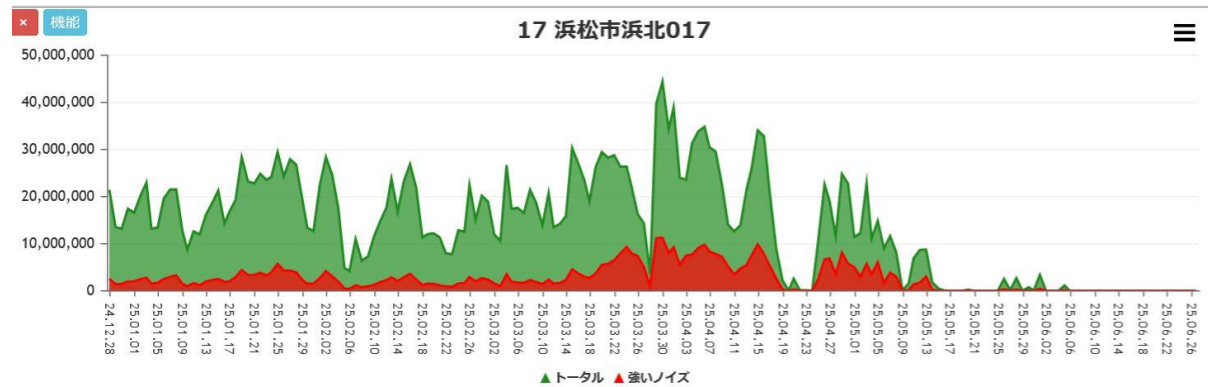
しかし①と②は位置的には離れていますが、中間の、和歌山大地や高知市介良が仮に、これら①と②のデータが同じ現象を捉えているとすると、中央は南海トラフの震源域に重なります。要注意ですがもう少し様子を見たいと思い、以下に関連のデータを載せます。

<中部地区の大地震関連>

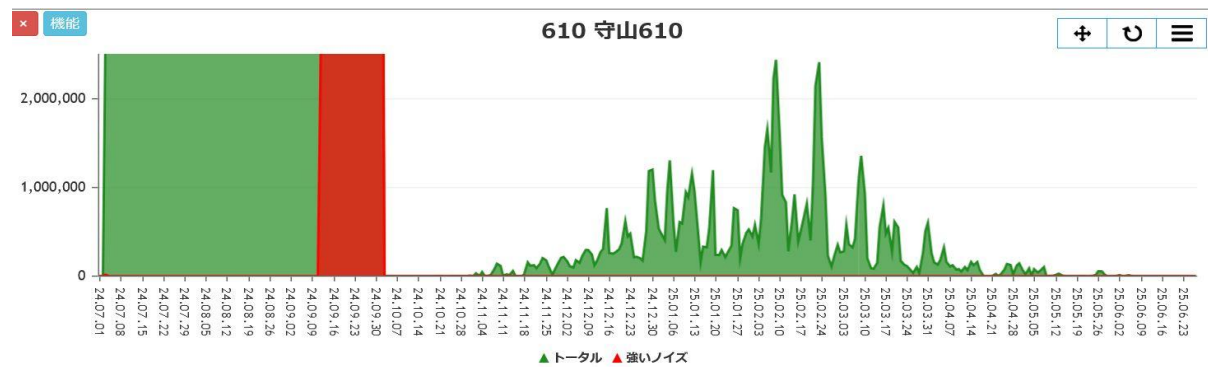
浜北017 360日間（日毎）データ



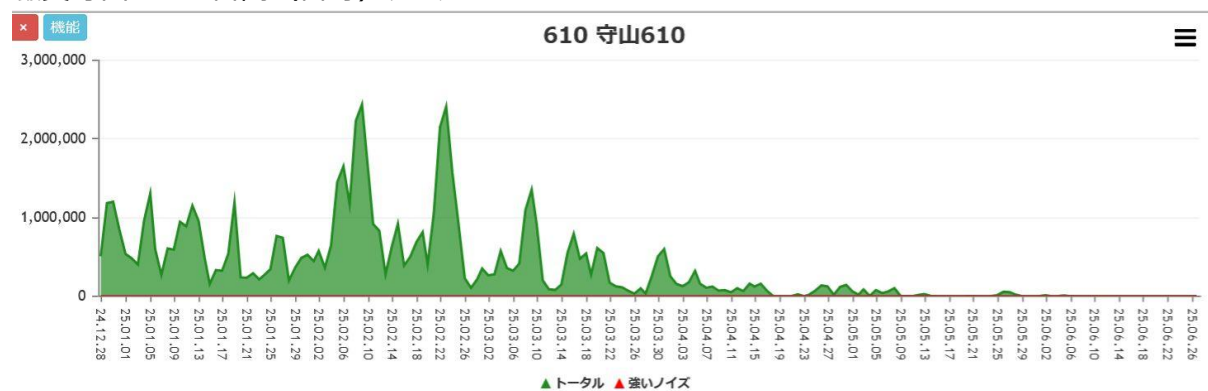
浜北 017 180 日間（日毎）データ



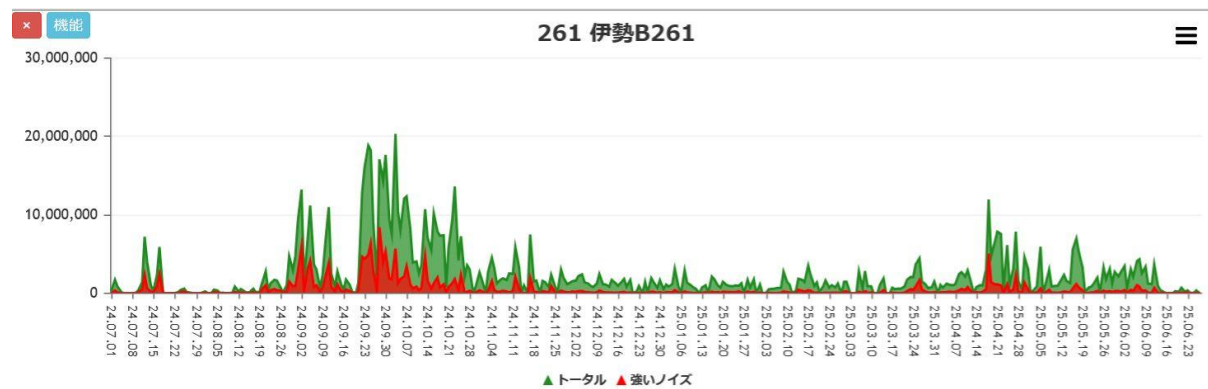
滋賀 守山 180 日間（日毎）データ



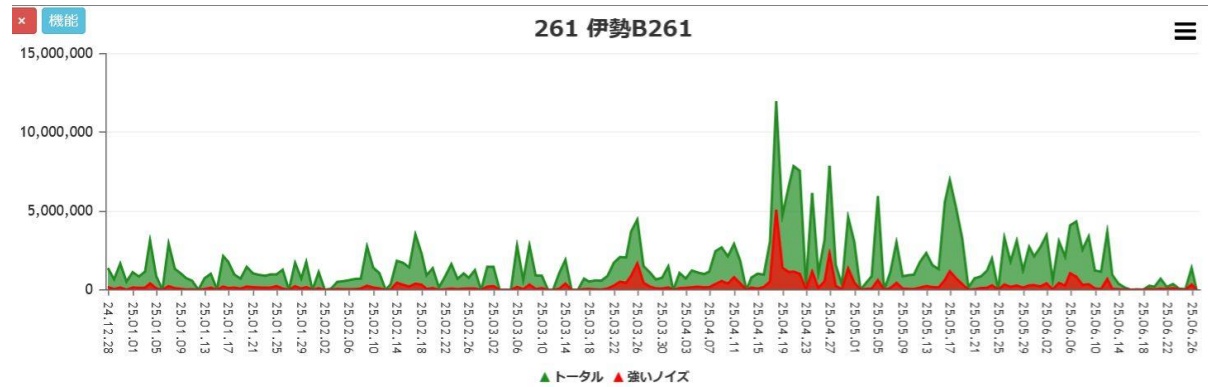
滋賀守山 180 日間（日毎）データ



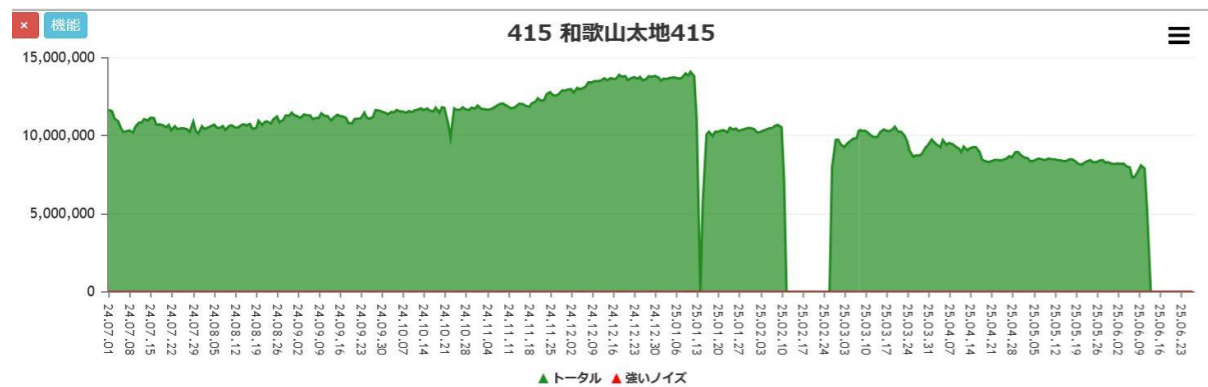
伊勢 B261 360 日間（日毎）データ



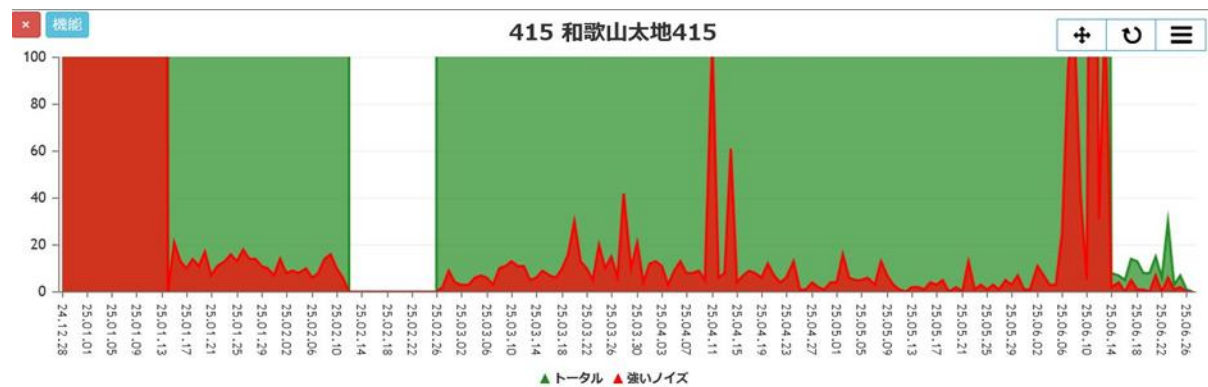
伊勢 B261 180 日間（日毎）データ



和歌山大地 360 日間（日毎）データ

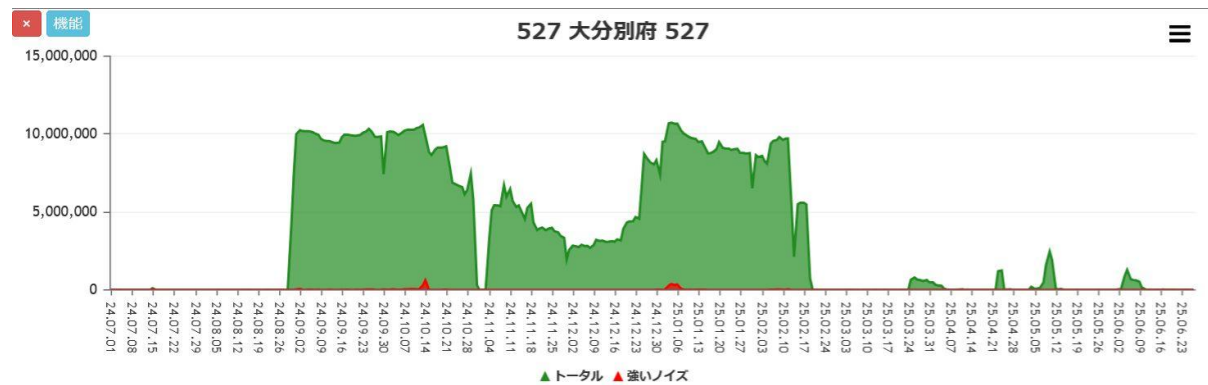


和歌山大地 180 日間（日毎）データ

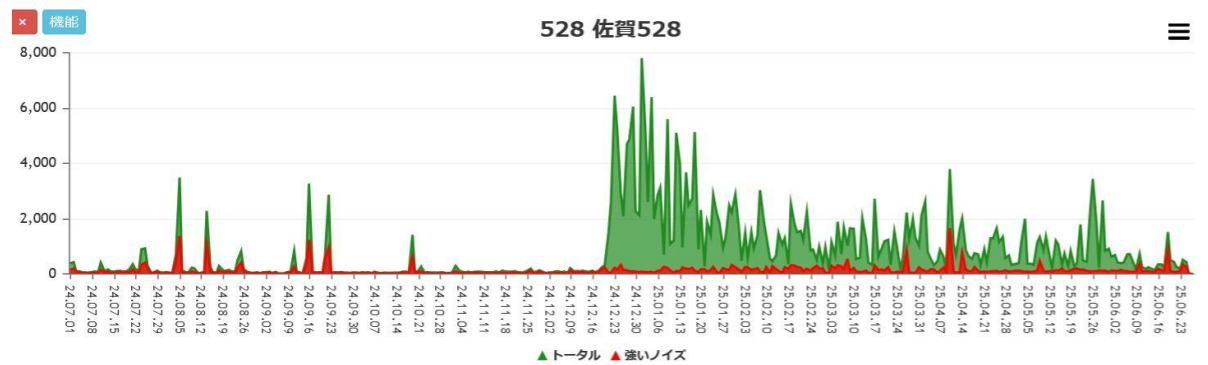


<九州の大地震の関連>

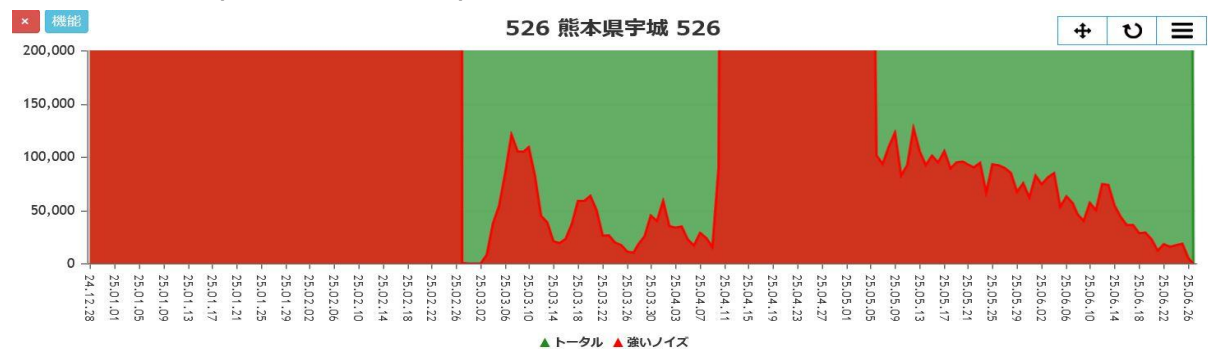
大分県 360 日間（日毎）データ



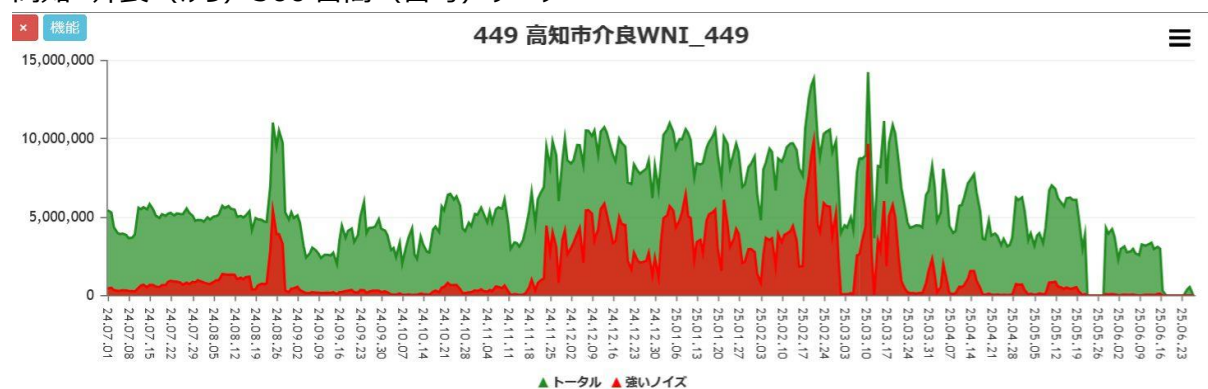
佐賀 360 日間（日毎）データ



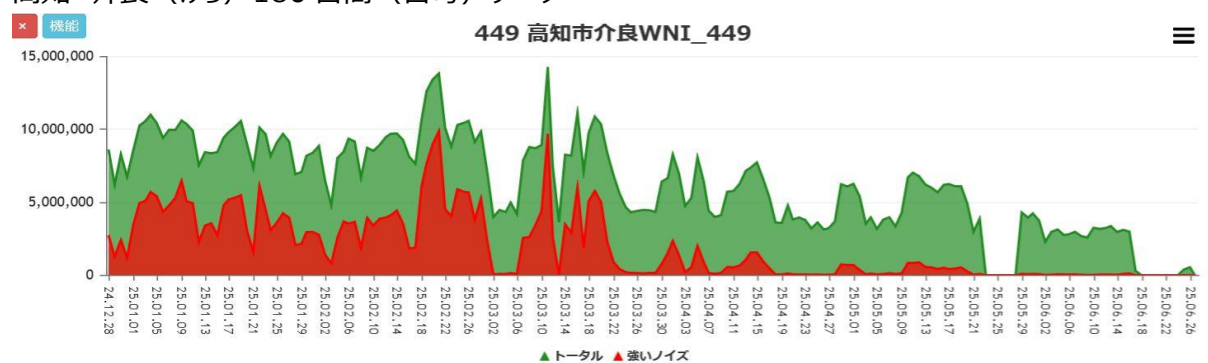
熊本 宇城（うき）180 日間（日毎）データ



高知 介良（けら）360 日間（日毎）データ



高知 介良（けら）180 日間（日毎）データ



位置関係

